

「宇治田原町地区連絡会議の取組状況」

京都府 宇治田原町農業委員会 宇治田原町地区連絡会議

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員：	14人
○ 農地利用最適化推進委員：	9人
○ 事務局職員：	3人
○ 市町村行政との連携状況：	
町農政担当と事務局担当とが兼務であり、連携できている。	

2 地区の特徴、状況、課題

- 宇治田原町は京都府の南東部に位置し、11集落から構成されている。
- 森林が約75%を占め、山間谷間に挟小な耕地が散在し、谷間集落を形成する農山村となっている。
- 「日本緑茶発祥の地」として茶業が大変盛んであるが、夏秋キュウリ、九条ネギ、みず菜、椎茸、古老柿等も本町の特産品である。



3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 地域計画の策定に向け、11月・12月の全体地区連絡会議において現況地図・目標地図の作成に向けた取り組み内容の情報共有を行なった。
- 地域計画の策定に当たり、農地所有者へのアンケート調査を11月に発送。農業委員会でも農地所有者にアンケート回答への周知啓発を行い、アンケート回収率向上に向け取り組んでいる。
- 今年度末に現況地図完成を目指し、地域内での活動を進めるべく取組を行っているところ。

4 成果（京力農場プランの目標実現に向けた取組内容）

- 地域ごとの現況地図作成に向けて委員間でも意見交換が進むなど機運が高まっている状況。
- 目標地図作りに重要となる農地の意向調査についても地域内で委員を中心に回答率向上に向けた取り組みを進めており、12月末で回収率約50%の成果が出ている。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください